

児童虐待予防シンポジウム

「児童虐待の連鎖を止めるために」

～予防的視点から、私たちにできること～



近年、**児童虐待**そして**虐待の世代間連鎖**が注目されています。事前に**予防**するためには、児童虐待は誰にでも何処にでも存在する**身近なもの**であるということを知る必要があります。本シンポジウムでは、3名のシンポジストをお迎えし、**スウェーデン**の児童虐待防止の取り組み、**現場ルポ**、**当事者**の視点から予防策をさぐっていきます。

｜ **日時** 2014年3月6日(木) 14:30～16:30 (開場14:00)

｜ **場所** 昭和女子大学 グリーンホール 世田谷区太子堂 1-7-57

｜シンポジスト

谷沢 英夫氏 (早稲田大学特別研究員 スウェーデン在住)

黒川 祥子氏 (フリーライター)

廣渡 麗子氏 (一般社団法人 STOP!ABUSE 代表理事)

｜コーディネーター

北本 佳子 (昭和女子大学福祉社会学科 教授/学科長)

参加
無料

主催：昭和女子大学

後援：世田谷区/世田谷区社会福祉協議会/公益財団法人資生堂社会福祉事業財団/東京都社会福祉協議会児童部会
(予定) 日本児童養護実践学会

| プログラム

- 学生によるオープニングムービー
- はじめの言葉 月田 みづえ（昭和女子大学福祉社会学科 教授／NPO昭和 所長）
- シンポジウム

（１）スウェーデンの児童虐待防止の取り組みの歴史と現状

～児童虐待禁止法に関する取組を中心に～

谷沢英夫氏（早稲田大学特別研究員 スウェーデン在住）

（２）児童虐待の現場ルポから予防策をさぐる

黒川祥子氏（フリーライター、著書『誕生日を知らない女の子

虐待—その後の子どもたち』で第11回開高健ノンフィクション賞受賞）

（３）児童虐待の当事者の視点から予防策をさぐる

廣渡麗子氏（一般社団法人 STOP!ABUSE 代表理事）

- 学長挨拶 坂東 真理子（昭和女子大学 学長）
- おわりの言葉

| 申込方法

メールにてお申込みください。（締切：2月28日）

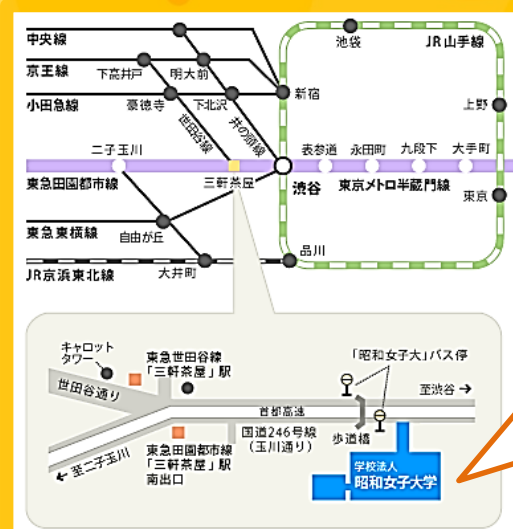
件名：「3月6日シンポジウム参加申込」

本文：「①氏名、②フリガナ、③連絡先（メールアドレス・電話番号）

④ご所属（学校名・勤務先等）＊④は差支えなければお願い致します。」

✉ capp2014@yahoo.co.jp

| アクセス



◆地下鉄

東急田園都市線（半蔵門線直通）「三軒茶屋」駅下車 徒歩7分

◆バス

- 渋谷駅から下記方面行きを利用し、「昭和女子大」下車
（上町・等々力・田園調布・弦巻営業所・二子玉川・高津営業所・成城学園・祖師谷大蔵・狛江・調布）
- 目黒駅・祐天寺駅から三軒茶屋行きを利用し、「三軒茶屋」下車
- 下北沢駅から駒沢陸橋行きを利用し、「三軒茶屋」下車

| お問い合わせ先

昭和女子大学福祉社会学科内 児童虐待予防プロジェクトチーム

TEL：03-3411-6936（9時～17時まで） Mail：capp2014@yahoo.co.jp